



（日二十月二十刊夕）

赤誠こもる慰問金

総額千五百八十餘圓

けふ取纏めを了つて發送

月見町では二十二圓四十錢二十枚、神十五本メリヤス
△北白銀町では二十九圓五シヤツ一枚を何れも十二日
十五錢△南町は九十六圓六分町役場へ提出したが今日
十五錢を△材木町から四十までに同町役場で取扱つた
圓三十錢△田町では百十八圓慰問金總額は千五百八十
圓七十六錢を△五丁目は三圓七十六錢に達したので伏
十五圓七十錢△平婦人會で見町長の慰問文と共に直ち
は十圓十錢を△鎌田町ではに發送することとなつた
三十六圓外に石輪三ヶ眞綿

本郡出身者七名

第二次補充兵として 昨日若松聯隊から出發

若松留守隊から第二次補充兵佐川泰男(三)君の遺骨
兵として十一日渡滿の壯途は十七日午後四時三十八分
に上つた勇士八十一名のうち 仙臺驛着、翌十八日午前中
ち本郡出身者は左記七名で 同地に於て慰靈祭を執行、
ある 同日午後二時十五分仙臺發 ませせてゐるが本年に於
矢吹力榮(湯本町)遠藤英(午後六時五十一分湯本驛に
雄(内郷)蛭田榮(田人村)到着し廿一日小名濱町で町
鈴木昇(鷲崎村)新妻久(新妻久)葬を執行される筈である
平(草野村)菅野要(一内
郷村)小林隆雄(平町)

名譽の佐川君

廿一日町葬

遺骨は十八日到着
敵口の激戦に於て名譽の戦
死をとげた湯本町居住小名
濱町出身第二師團騎兵上者にしてその日の生活にも

貧困者を調査

救済方法を協議

年々漸く急増する
と二旬餘りとなつたが
死をとげた湯本町居住小名
濱町出身第二師團騎兵上者にしてその日の生活にも

忘年會の走り

お役人煙草屋が 先鞭をつく

今年の暮は時節柄忘年會な
どテンデあるまいと新田町
花柳街方面では何れも懇親
の態にある矢先、専賣局中
出張所では石所長以下従業
員十餘名が今夕六時から谷
口樓で忘年會を開くことと
なり不況風に喘ぐ人々を羨
ひ兼ねぬものは偽造して殘
額並びに利子を拂戻してボ
ロイ儲けをしてゐたこと平
著に發覺し同署では今朝奉
破害者である飯野村荒川阿
部英五郎外同村のみ拾遺名
を召喚取調してゐるが被害
四月十四日、スペイン皇帝
地球廻轉記(六) 地球生

老人道を迷ふ

一夜の保護を受く

十一日午後七時ごろ平町
掘小路地内を杖に絶つた
動不審の老人あつたので巡
邏中の平町員が進行取調べ
ると右は川部村大字上小川
無職芳賀能隆(四)と云ひ植
田町に眼病で入院してゐる
甥を訪ね行く途中道に迷つ
てゐたものと判つたが何人
提出した

手先數名を使ひ

大仕掛な通帳詐欺

使ひ残りの利子を拂戻して
郡下一圓の貧農を欺き廻る
平町杉平無職志賀利雄(五)である
は數ヶ月前より旭商會と稱
するインチキ會社を設け外
交員數名を手先に使つて石
城郡内の各農家に於ける無
智な貧農につけ入り額面五
十錢位を預けて放つて置く
郵便貯金通帳を「自分は局
計部中であつた漁港修築は
から委託されたものだが今
度政府で通帳を買ひ上げる
ことになつたから」と巧み
に欺いて通帳を五十錢で買
ひ集め之を局へ持ち行き印
鑑のないものは偽造して殘
額並びに利子を拂戻してボ
ロイ儲けをしてゐたこと平
著に發覺し同署では今朝奉
破害者である飯野村荒川阿
部英五郎外同村のみ拾遺名
を召喚取調してゐるが被害
四月十四日、スペイン皇帝
地球廻轉記(六) 地球生

豊間築工の起工式

工費三萬圓で 江口工業請負

石城郡豊間村に於て豫ねて
計部中であつた漁港修築は
から委託されたものだが今
度政府で通帳を買ひ上げる
ことになつたから」と巧み
に欺いて通帳を五十錢で買
ひ集め之を局へ持ち行き印
鑑のないものは偽造して殘
額並びに利子を拂戻してボ
ロイ儲けをしてゐたこと平
著に發覺し同署では今朝奉
破害者である飯野村荒川阿
部英五郎外同村のみ拾遺名
を召喚取調してゐるが被害
四月十四日、スペイン皇帝
地球廻轉記(六) 地球生

義務教育費補助金交付

平町は前年度より増額

義務教育費國庫補助第三條
後段による七年度各町村割
當多額のうち平町の分は一
萬二千四百四十圓を交付さ
れる旨十二日平町役場へ通
知あつたが前年度に比し三
百三十圓四十八錢増額して
ゐるが之は前年度に比し就
學兒童數が増加したためで
ある

日用品の動き

毎週土曜掲載

- 米穀類 白米一キロ一等
十四錢、二等十三錢五厘
三等十三錢、△白麥九錢
△平麥拾貳錢
- 調味料 味噌一貫匁五
拾錢、△醬油一升卅五錢
△清酒一升九拾錢、△砂
糖白匁、白拾三錢、赤七
錢、△豚肉並廿錢、牛肉
並廿五錢
- 薪炭類 木炭拾九一貫匁
二拾一錢、檜割拾六錢、
雜木拾七錢

僧侶托鉢をて

豊間村四ヶ寺の住職小野照

道、菅支那、増子亮道、村
上政雄の四僧は合同して拾
一日から滿州兵慰問金を募
るため托鉢をなし淨財を求
めてゐる

平商業學校生徒

九圓七十一錢を

平商業學校生徒一同は九圓
父高岡唯一郎儀豫て病氣療養中の
處藥石効無く九日午後十時死去仕
候間此段生前辱知諸賢に謹告候也
追て送葬の儀は十二月十四日午後一時自宅
に於て佛式相營み申し候
十二月十日 福島縣石城郡草野村

民謠

平小唄の 懸賞募集

第二面の廣告を
御らん下さい

文

- 酒井國三郎 夫
- 山崎吉平
- 伊藤淺之助
- 松本孫右衛門
- 犬養善兵衛
- 堀切善兵衛
- 入田宗吉
- 石射文五郎
- 木村清治郎
- 山崎與三郎
- 安島重三郎
- 白井博通
- 金成

七十一錢を儲金し十二日平
剛役場へ

農業

果樹 着手に當る注意 (三)
 石城農試 稲田技師
 分科長 稲田技師
 堅實な基礎の本に立つた
 仕事でなければ堅實な歩
 本に一步一步と成功を納め
 る事が出来ない不況の農林
 打開も堅實な基礎の本に堅
 實な歩によつて進まねば到
 底其の目的を完ふする事は
 出来ない、依つてこれから
 果樹栽培に着手される者も
 慎重なる計書の下に堅實な
 基礎を以て當られる事を切
 望するものである、就てそ
 の計書の一要點である、品
 種の撰擇を各種の果樹につ
 いて申述べて見たいと思ふ
 一、柿、柿には甘柿と渋柿
 とある一般に甘柿は暖地に
 優良多く寒地では殆んど生
 産されない、之れは温度が
 低い故充分に澁が脱けない
 事と寒氣に對する抵抗力が
 弱い爲め枝枯れが多く栽培
 困難な爲である、故に甘柿
 の栽培出来るのは北は本縣
 まで位では北から北へ行く
 と絶対に栽培されて居ない
 と云つてもよい位である、
 本縣でも完全に澁の脱げる
 のは深通り地方位で中通り
 や會津地方へ行くと稍々大
 形の甘柿は殆んど澁がぬけ
 ない會津には八潮、福島地
 方には玉川と云ふ柿がある
 が之れ等の様に小粒なもの
 ならば澁も餘程困難でな
 く相當見込があるが完全と云
 ふ迄には行かぬ様である

着祝おの三五七

に方機子おの補振いしら愛可
ルーヨシと追箱

ヤルツ

〇四一電

恐怖時代の

動脈硬化症新薬
豫防及治療

アイヨール錠

試用 二圓
中 六圓
大 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

看護婦

急派の求め
に應じます

平看護婦會
電話三〇七番

平民會

平町を紹介
する高雅な
募集す

期日は
十二月
末日迄

入選 壹等五圓 審査員選外
貳等三圓 佳作に
參等二圓 下人選
四等壹圓 薄謝を
五等五拾錢 呈す

應募者は新しいわき新聞社又は平第一小学校内
民話平民會募集係宛に申込下さい

主催 平町教育會
後援 新いわけ新聞社

注意一、應募原稿は平町教育會の版權とす
入選及佳作に對しては加除修正す
ることあるべし

朝日

煙突は
程す間に露雨

石綿セメント製
朝日煙突

絶対に
ほげない!!
くさらない!!
経済的で
火災の心配がない

金屋商店

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町、電話五二三番

高久病院

院長醫學士高久忠

支那料理共に自慢の腕

サービスのよい
女給も揃つてご座います

期節的の
支那料理
は特に勉強

四品付定食五拾錢、五品付定食一圓

平町、四丁目
電話、五七六

カフェエーボタン

諸毒下シの大妙薬

安流丸

平町五丁目角
特約 山野邊藥局

内科
小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平町南町
電話二五八番

時局重

國際聯盟や果して如何
刻々のニュース名士の
大の秋 講演を知るは國民の責務

ラヂオ
月賦、日掛
迎

富永ラヂオ店

平町前(電話四九六番)

模範
裁縫

高島屋洋服店

平町驛前 電話三八六番

冬服の
御用命は
高島屋へ

新柄着荷



移轉お知らせ

此度平町田町七十五番地(元平町役場
跡)に移轉致しました
從前の通り一般の診療に從事致します
昭和六年十二月廿九日
平町田町七十五番地

清水醫院

醫學士 清水廣政
電話二三八番

入院應需

明雲堂眼科醫院

平町前(電話六六九番)

◇自炊の便あり

●寒さ知らずの暖房装置
●居心地のよいソファ
●晴やかな女給のサービス

カフェエータヒラ

平町前(電話六二〇)

女給さん数名入用